

### 3 事業報告書

## 事業報告書

令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

#### (1) 農作物共済関係

(引 受)

△印 減

年 産	共済目的	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴収共済 掛 金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)
4	水 稻	人	a	円	円	円	円
		24,254	1,396,145.5	11,132,549,703	63,050,687	62,751,759	125,802,446
	前年対比	△2,136	△282,052.3	△211,125,963	21,888,592	21,709,863	43,598,455
	麦	22	6,228.4	1,728,860	15,961	15,386	31,347
計	(延) 24,276	1,402,373.9	11,134,278,563	63,066,648	62,767,145	125,833,793	
	(実) 24,256						
5	麦	20	5,559.8	1,594,454	13,882	13,376	27,258
		前年対比	△2	△668.6	△134,406	△2,079	△2,010

年 産	共 済 目 的	計 画 達 成 率 面 積	農 林 統 計 引 受 率	10 a 当たり平均		1組員当たり		平均単位当 たり共済金額 (kg 当たり)
				基 準 収 穫 量	農 家 負 担 掛 金	引 受 面 積	農 家 負 担 掛 金	
4	水 稻	%	%	kg	円	a	円	円
		95.5	62.8	505	452	58	2,600	195.04
	麦	77.7	21.1	157	26	283	726	22.04
5	麦	83.7	15.5	182	25	278	694	19.70

#### 引受の概要

(水稻)

水稻の引受面積は、農家の高齢化による離農や農業経営収入保険への移行により、引受面積は約2,821ha減少した。

県内の作付面積22,228haに対する引受率は62.8%、共済金額は111億3,255万円（対前年比98.1%）となった。

( 麦 )

麦の引受面積は、作付けを中止する農家があったことや農業経営収入保険への移行により、引受面積は約7ha減少した。

県内の作付面積358haに対する引受率は15.5%、共済金額は159万円（対前年比92.2%）となった。

(被害)

△印 減

共 済 目 的	被害組合員数	被 害 面 積	共 済 金	平 均 共 済 金		
				共 済 金 額	共 済 金 額	
				10アール当たり	1組合員当たり	
水 稻	人 1,101	a 36,629.3	円 68,619,106	% 0.6	円 18,733	円 62,324
麦	6	475.1	27,167	1.6	572	4,528
計	延 1,107	37,104.4	68,646,273	-	-	-
前年	△ 662	△ 26,306.4	△ 102,777,022	△0.9	△8,501	△34,894
対比	△ 11	△ 391.2	△ 73,455	△2.8	△590	△1,391

被害の概要

(水 稻)

移植期の5月、6月とも少雨傾向であったため一部地域では、水不足による移植不能が発生した。7月は、中旬から局地的豪雨となり、河川からの土砂流入や冠水による被害が県内各地で発生し、7月上旬から8月上旬にかけて高温多湿により、一部地域でいもち病や紋枯病の病害が発生した。8月は、高気圧に覆われ概ね晴れた日が多かったが、9月には、台風11号と台風14号の影響で倒伏による穂発芽の被害が発生した。獣害は、主にシカ・イノシシによる食害及び踏み荒らしが全域で発生し、鳥害は早生品種を中心にスズメによる食害が発生した。また、一部地域でトビイロウンカが発生し茎葉の吸汁により坪枯れや生育不良などの被害が発生した。

( 麦 )

令和3年10月中旬から11月中旬の播種適期に気候が温暖だったため、発芽まで順調に生育が進んだが、幼苗期の降雨で過湿土壌により土中の酸素が欠乏し生育不良となる被害が発生した。獣害は、生育初期のシカによる新芽の食害、乳熟期のイノシシによる食害や踏み荒らしの被害が発生した。

(支 払)

共 済 目 的	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金					支 払 財 源	実 支 払 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他		
水 稻	令和4年12月21日 令和4年12月22日 令和5年 3月 8日	円 68,619,106	円	円 68,619,106	円	円	円	%	
麦	令和4年9月2日	27,167		27,167			0	100.0	
計		68,646,273	0	68,646,273	0	0	0	100.0	

(損害防止)

獣害対策として、「防護ネット（使用済みのり網）」の斡旋を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

△印 減

項目		組合員数	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
区分											
死亡 廃用	搾乳牛	103	5,775	7,566	7,289	96.3	2,591,625	63,645,654	/	/	/
	育成乳牛		2,652	4,282	5,051	118.0	1,088,579	8,644,922			
	↳子牛等(内数)			(464)	(511)						
	繁殖用雌牛	486	4,692	4,967	5,029	101.2	1,608,072	7,780,861			
	育成・肥育牛		22,014	36,894	38,068	103.2	16,118,959	47,950,715			
	↳子牛等(内数)			(4,649)	(4,907)						
	種豚	4	4,463	3,753	4,212	112.2	204,352	7,456,309			
	肉豚	5	40,197	25,932	25,345	97.7	279,891	32,073,046			
	肉用種雄牛	1	2	2	2	100.0	325	5,929			
	計	599	79,795	83,396	84,996	101.9	21,891,803	167,557,436			
前年対比	△ 55	△ 106	△ 1,624	△ 1,105	/	456,589	3,423,097	0	1,995,802	5,418,899	
疾病 傷害	乳用牛	113	8,427	8,414	8,730	103.8	175,106	59,366,676	/	/	/
	肉用牛	503	26,706	21,595	22,415	103.8	179,278	33,889,895			
	種豚	1	4,463	2,500	2,459	98.4	14,401	7,429,284			
	肉用種雄牛	1	2	2	2	100.0	80	3,062			
	計	618	39,598	32,511	33,606	103.4	368,865	100,688,917			
前年対比	△ 49	147	563	1,073	/	△ 18,936	△ 4,951,517	0	△ 5,356,469	△ 10,307,986	

※有資格頭数は、令和5年2月1日現在。

引受の概要

令和4年度は飼料価格の高騰や子牛価格の下落による影響を受け、酪農家や和牛繁殖農家の廃業が増加した。死亡廃用共済では、搾乳牛及び育成乳牛で廃業する農家があったが、大型酪農家の増頭により、搾乳牛で30頭、共済金額は3億9,142万円増加し、育成乳牛では98頭増加したものの共済金額が1,602万円減少した。繁殖用雌牛は、頭数、共済金額とも増加した。育成・肥育牛は、増頭した農家があり、699頭の増加となったが、共済金額は1,681万円減少した。種豚は、大規模農家の設備改修が終わり、飼養頭数の増頭によ

り510頭、共済金額で2,804万円増加した。肉豚は頭数が2,447頭減少したが、1頭当たりの評価額が上昇したため、共済金額は1,308万円の増加となった。

疾病傷害共済では、乳用牛については、282頭増加したが、共済金額は1,205万円減少した。肉用牛についても721頭増加したが、共済金額は806万円減少した。種豚については、大規模農家の設備改修が終わり、飼養頭数の増頭により頭数、共済金額とも増加した。

(事 故)

項目	死亡 廃用 共済				
	死亡頭数	法令殺頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
搾乳牛	373	0	204	577	155,847,747
育成乳牛	198	0	7	205	21,253,047
↳子牛等(内数)	(168)	(0)	(0)	(168)	
繁殖用雌牛	80	0	16	96	20,314,587
育成・肥育牛	549	0	26	575	63,896,093
↳子牛等(内数)	(480)	(0)	(0)	(480)	
種豚	219	0	0	219	9,375,850
肉豚	4,430	0	0	4,430	40,139,628
肉用種雄牛	0	0	0	0	0
計	5,849	0	253	6,102	310,826,952
前年対比	△ 593	0	34	△ 559	42,005,711

事故の概要

(死廃事故)

牛では、支払頭数、支払共済金が増加、特に搾乳牛の支払いは前年対比125頭、約3,682万円と大きく増加した。牛の合計では272頭、約5,263万円の増加となった。豚では事故が減少し、種豚で45頭、154万円の減少、肉豚で786頭、約909万円減少した。

△印 減

項目	疾病 傷害 共済	
	件数	支払共済金
乳用牛	8,919	136,942,197
肉用牛	11,689	124,454,709
種豚	2,543	14,715,443
計	23,151	276,112,349
前年対比	621	1,266,699

(病傷事故)

前年に比べ乳用牛の支払いは135件減少したが、支払共済金は約26万円増加した。肉用牛では333件増加したが、支払共済金は約70万円の減少となった。種豚は423件、約171万円増加した。

(損害防止)

実 施 種 目		対 象 頭 数	経 費 概 算	摘 要
特 定 損 害 防 止 事 業		頭 1,228	円 5,114,070	乳用牛:牛伝染性リンパ腫 583頭 肉用牛:牛伝染性リンパ腫 645頭
一 般 診 療 所 実 施 防 止	家 畜 共 済 事 故 低 減 指 導 事 業	頭 471	円 1,707,500	乳用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 346頭 肉用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 125頭
	計	471	1,707,500	
一 般 損 害 防 止	家 畜 共 済 畜 舎 消 毒 事 業	頭 15,918	円 908,356	動力噴霧器 延14,864頭 (延 333戸) 煙 霧 機 延 1,054頭 (延 8戸)
	計	15,918	908,356	

(診療所)

診 療 所 名	獣 医 師 数	有 資 格 頭 数	加 入 頭 数	診 療 件 数		損 害 防 止 事 業 ( 診 療 所 実 施 )			そ の 他		摘 要
				共 済 事 故	事 故 外	一 般	特 損	経 費 概 算	予 防 注 射	人 工 授 精	
東 広 島	人 6	頭 5,257	頭 2,842	件 1,740	件 1,881	頭 55	頭 144	円 805,870	頭 2,270	件 386	
北 広 島	7	5,230	4,960	4,464	5,889	252	263	1,947,550	6,368	1,267	
府 中	7	19,189	16,898	4,581	5,327	79	278	1,410,490	6,074	658	
庄 原	6	4,493	4,575	3,936	6,155	51	206	1,086,440	6,282	802	
三 次	3	5,429	4,331	2,725	2,462	34	337	1,571,220	1,797	379	
計	29	39,598	33,606	17,446	21,714	471	1,228	6,821,570	22,791	3,492	

(3) 果樹共済関係  
(引 受)

△印 減

果樹区分	項目	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
うんしゅみかん	(減収総合一般)	令和5年産計 A	254	183	2,394.6	32,113,000	308,278	193,353	501,631
		令和4年産計 B	271	196	2,603.3	33,731,000	528,887	39,010	567,897
		前年対比 A-B	△17	△13	△208.7	△1,618,000	△220,609	154,343	△66,266
		参考 1 組合員当たり			13.1	175,481			
		参考 10アール当たり				134,106			
	(災害収入)	令和5年産計 A	93	93	3,596.1	82,108,000	778,668	472,294	1,250,962
		令和4年産計 B	95	95	3,810.5	80,090,000	1,194,470	2,504	1,196,974
		令和3年産計 C	109	109	4,392.4	88,857,000	1,376,521	2,878	1,379,399
		前年対比 A-B	△2	△2	△214.4	2,018,000	△415,802	469,790	53,988
		参考 1 組合員当たり			38.7	882,882			
なつみかん	(減収総合一般)	令和6年産計 A	20	20	150.0	1,559,000	9,911	3,388	13,299
		令和5年産計 B	19	19	144.0	1,603,000	13,779	1,626	15,405
		令和4年産計 C	22	22	185.0	2,063,000	18,220	2,140	20,360
		前年対比 A-B	1	1	6.0	△44,000	△3,868	1,762	△2,106
		参考 1 組合員当たり			7.5	77,950			
	(災害収入)	令和6年産計 A	132	106	1,378.9	26,831,000	254,689	203,432	458,121
		令和5年産計 B	138	109	1,442.4	28,395,000	321,903	200,762	522,665
		令和4年産計 C	145	114	1,584.0	32,070,000	381,191	237,748	618,939
		前年対比 A-B	△6	△3	△63.5	△1,564,000	△67,214	2,670	△64,544
		参考 1 組合員当たり			13.0	253,123			
指定かんきつ	(災害収入)	令和6年産計 A	78	78	3,997.7	108,093,000	982,350	800,276	1,782,626
		令和5年産計 B	92	92	4,569.3	127,673,000	1,331,916	977,688	2,309,604
		令和4年産計 C	105	105	5,143.8	148,115,000	1,510,086	1,108,432	2,618,518
		前年対比 A-B	△14	△14	△571.6	△19,580,000	△349,566	△177,412	△526,978
		参考 1 組合員当たり			51.3	1,385,808			
	参考 10アール当たり				270,388				

果樹区分	項目 年産	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
りんご	(減収総合一般)	令和5年産計 A	22	8	633.8	25,270,000	537,885	△168,536	369,349
		令和4年産計 B	23	9	714.8	30,141,000	1,237,092	△639,361	597,731
		前年対比 A-B	△1	△1	△81.0	△4,871,000	△699,207	470,825	△228,382
	参考	1組合員当たり			79.2	3,158,750			
		10アール当たり				398,706			
	(半相殺 特定危険 3点)	令和4年産計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和3年産計 B	33	13	1,237.1	62,789,000	1,207,259	△436,318	770,941
前年対比 A-B		△33	△13	△1,237.1	△62,789,000	△1,207,259	436,318	△770,941	
参考		1組合員当たり			-	-			
	10アール当たり				-				
ぶどう	(減収総合一般)	令和5年産計 A	61	58	1,383.8	125,150,000	398,959	299,243	698,202
		令和4年産計 B	64	61	1,320.1	120,010,000	493,373	124,182	617,555
		前年対比 A-B	△3	△3	63.7	5,140,000	△94,414	175,061	80,647
	参考	1組合員当たり			23.9	2,157,759			
		10アール当たり				904,394			
	(災害 収入)	令和5年産計 A	8	4	1,391.2	186,770,000	845,986	518,630	1,364,616
		令和4年産計 B	26	13	3,046.3	455,967,000	2,214,789	△20,983	2,193,806
前年対比 A-B		△18	△9	△1,655.1	△269,197,000	△1,368,803	539,613	△829,190	
参考		1組合員当たり			347.8	46,692,500			
	10アール当たり				1,342,510				
なし	(減収総合一般)	令和5年産計 A	28	14	576.9	21,597,000	402,397	△131,331	271,066
		令和4年産計 B	28	15	546.9	21,361,000	800,993	△390,443	410,550
		前年対比 A-B	0	△1	30.0	236,000	△398,596	259,112	△139,484
	参考	1組合員当たり			41.2	1,542,643			
		10アール当たり				374,363			
収穫共済計		696	564	15,503.0	609,491,000	4,519,123	2,190,749	6,709,872	
前年対比		△93	△58	△3,931.7	△352,269,000	△4,825,338	2,332,082	△2,493,256	

(引受の概要：収穫共済)

令和4年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ（はっさく、ネーブルオレンジ、清見、不知火、はるみ、レモン）、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に半相殺減収総合一般方式、災害収入共済方式の2区分で実施した。

常緑果樹は、新規引受けはあったが、高齢化による栽培規模の縮小、廃園による加入中止、収入保険への移行などにより31人、1,052.2aの減少となった。

落葉果樹は、伐採、廃園、改植等による加入中止、収入保険への移行などにより27人、2,879.5aの減少となった。

令和3年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率及び前年対比（面積）は、うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）1.5%、92.0%、うんしゅうみかん（災害収入共済方式）2.2%、94.4%、なつみかん（半相殺減収総合一般方式）3.2%、104.2%、指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）1.9%、95.6%、指定かんきつ（災害収入共済方式）4.0%、87.5%、りんご（半相殺減収総合一般方式）7.3%、88.7%、ぶどう（半相殺減収総合一般方式）5.1%、104.8%、ぶどう（災害収入共済方式）5.2%、45.7%、なし（半相殺減収総合一般方式）4.2%、105.5%となった。

果樹区分	項目 年度	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
樹	うんしゅうみかん	令和4年度計 A	2	2	68.1	8,283,000	18,388	16,973	35,361
		令和3年度計 B	2	2	68.1	8,062,000	17,736	17,085	34,821
		前年対比 A-B	0	0	0.0	221,000	652	△112	540
		参考 1 組合員当たり	/	/	34.1	4,141,500	/	/	/
	参考 10アール当たり	/	/	/	1,216,300	/	/	/	
	なつみかん	令和4年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和3年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0
		参考 1 組合員当たり	/	/	-	-	/	/	/
	参考 10アール当たり	/	/	-	-	/	/	/	
指定かんきつ	令和4年度計 A	2	2	53.4	16,190,000	11,495	10,184	21,679	
	令和3年度計 B	2	2	53.4	14,771,000	19,276	18,081	37,357	
	前年対比 A-B	0	0	0.0	1,419,000	△7,781	△7,897	△15,678	
	参考 1 組合員当たり	/	/	26.7	8,095,000	/	/	/	
参考 10アール当たり	/	/	/	3,031,835	/	/	/		
りんご	令和4年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0	
	令和3年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	参考 1 組合員当たり	/	/	-	-	/	/	/	
参考 10アール当たり	/	/	-	-	/	/	/		
ぶどう	令和4年度計 A	2	2	15.0	6,512,000	25,267	21,984	47,251	
	令和3年度計 B	4	4	40.0	17,817,000	67,835	47,219	115,054	
	前年対比 A-B	△2	△2	△25.0	△11,305,000	△42,568	△25,235	△67,803	
	参考 1 組合員当たり	/	/	7.5	3,256,000	/	/	/	
参考 10アール当たり	/	/	/	4,341,333	/	/	/		
なし	令和4年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0	
	令和3年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	参考 1 組合員当たり	/	/	-	-	/	/	/	
参考 10アール当たり	/	/	-	-	/	/	/		
樹体共済計		6	6	136.5	30,985,000	55,150	49,141	104,291	
前年対比		△2	△2	△25.0	△9,665,000	△49,697	△33,244	△82,941	
果樹共済計		702	570	15,639.5	640,476,000	4,574,273	2,239,890	6,814,163	
前年対比		△82	△60	△3,956.7	△361,934,000	△4,875,035	2,298,838	△2,576,197	

(引受の概要：樹体共済)

令和4年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に実施したが、うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどうの3樹種での引受けとなり、組合員数2人、25aの減少となった。

令和3年産結果樹面積(参考数値)に対する引受率は、うんしゅうみかん0.04%、指定かんきつ0.1%、ぶどう0.1%となった。

## (被害・支払)

△印 減

果樹区分	項目	年産	被害 組合 員数	共 済 金 共 済 金	共 済 金 共 済 金 額	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 共 済 金 共 済 金
								保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
			人	円	%		円	円	円	円	円	円	%
うんしゅう みかん	(一般)	4	1	20,860	0.1	令和5年3月3日	20,860		20,860			0	
なつみかん	(一般)	4	0	0	0.0	-	0		0			0	
指 定 かんきつ	(一般)	4	2	85,910	0.3	令和4年6月30日	85,910		8,591			0	
り ん ご	(一般)	4	0	0	0.0	-	0	77,319	0			0	100.0
ぶ ど う	(一般)	4	1	70,840	0.1	令和4年12月13日	70,840		70,840			0	
な し	(一般)	4	1	199,260	0.9	令和4年12月13日	199,260		199,260			0	
うんしゅう みかん	(災害)	3	2	364,377	0.4	令和4年11月15日	364,377	0	364,377			0	100.0
指 定 かんきつ	(災害)	4	3	789,633	0.5	令和4年11月15日	789,633	0	789,633			0	100.0
ぶ ど う	(災害)	4	0	0	0.0	-	0	0	0			0	0.0
計			10	1,530,880	0.2		1,530,880	77,319	1,453,561	0	0	0	100.0
前 年 対 比			△48	△35,379,768			△35,379,768	△28,124,632	△7,255,136	0	0	0	

## (被害の概況)

## ① 令和4年産 うんしゅうみかん (半相殺減収総合一般方式)

令和4年8月上旬からサビダニの被害が発生した。  
令和4年8月上旬からそうか病の被害が発生した。  
令和4年11月中旬からタヌキ、カラスによる食害が発生した。

## ② 令和4年産 指定かんきつ (半相殺減収総合一般方式)

令和3年8月中旬の長雨により黒点病の被害が発生した。  
令和3年11月上旬の降雨により果実の裂果、腐敗が発生した。  
令和3年11月下旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。

## ③ 令和4年産 ぶどう (半相殺減収総合一般方式)

令和4年9月上旬からアナグマによる果実の食害が発生した。

## ④ 令和4年産 なし (半相殺減収総合一般方式)

令和4年5月上旬からの少雨により干害が発生した。  
令和4年7月上旬からイノシシによる食害が発生した。  
令和4年7月中旬からシンクイムシによる虫害が発生した。

## ⑤ 令和3年産 うんしゅうみかん (災害収入共済方式)

令和3年1月上旬の寒波の影響により、開花不良、不完全花となる被害が発生した。  
令和3年9月中旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。

## ⑥ 令和4年産 指定かんきつ (災害収入共済方式)

令和3年1月上旬の寒波の影響により、開花不良、不完全花となる被害が発生した。

## (損害防止)

損害防止に係る防除薬剤費の一部助成を行った。



(4) 畑作物共済関係

(引 受)

△印 減

項目 年度	畑作物 区 分	組 合 員 数	引 受 面 積	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金	農 林 統 計
					(A)	(B)	(A) ± (B)	引 受 率
4	大 豆	人 37	a 5,563.2	円 6,223,468	円 230,291	円 △9,560	円 220,731	% 13.6
前 年 対 比		△28	△2,354.1	△1,741,173	△53,117	△237,807	△290,924	△5.8

項目 年度	畑作物 区 分	10アール当たり平均		1組合員当たり平均		平均単位当たり 共 済 金 額 (kg 当 たり)
		基 準 収 穫 量	農 家 負 担 掛 金	引 受 面 積	農 家 負 担 掛 金	
4	大 豆	kg 97	円 414	a 150.4	円 6,224	円 139.29
前 年 対 比		△4	56	28.6	1,864	

引受の概要

法人等大型農家が農業経営収入保険に移行したことや、作付け中止及び大豆から他の作物への転換により、引受面積は55.6ha（対前年比70.3%）、共済金額は622万円（対前年比78.1%）となった。引受率は、県内の作付面積408haに対し、13.6%となった。

(被害)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	被 組 合 員 害 数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金		1 戸 当 た り 平 均		備 考
					共 済 金 額	%	被 害 面 積	共 済 金	
4	大 豆	人 11	a 2,613.1	円 139,542	% 2.2	a 237.6	円 12,686		
前 年 対 比		△18	677.0	△372,860	△4.2	170.8	△4,983		

被害の概要

(大豆)

7月の播種時期にまとまった降雨があったため、過湿土壌による土中の酸素が欠乏し発芽不良や生育不良が発生した。中山間部を中心にシカによる生育初期の新芽の食害による生育遅延等、イノシシによる収穫時期の食害や踏み荒らしによる被害が発生した。また、カメムシによる子実の吸汁で生育不良が発生した。

(支払)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金		支 払 財 源			実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
4	大 豆	令和5年3月20日	円 139,542	円 0	円 139,542	円 0	円 0	円 0	% 100.0
前 年 対 比			△372,860	0	△372,113	△747	0	0	

## (5) 園芸施設共済関係

(引 受)

△印 減

施設区分	項目		設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A)±(B)
	組合員数	引受棟数						
ガラス室 I類	人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	円	円	円
	1	1	274	2,039	1,631	1,003	791	1,794
〃 II類	8	20	6,922	91,115	76,908	15,411	1,912	17,323
プラスチックハウス I類	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II類	1,210	4,287	1,048,664	4,044,718	3,340,297	19,390,848	3,994,343	23,385,191
〃 III類	55	75	61,016	357,797	301,416	872,984	453,442	1,326,426
〃 IV類	甲	48	107	77,829	712,902	512,447	404,219	1,729,818
	乙	16	37	34,471	536,364	431,256	48,184	163,790
〃 V類	22	49	47,640	476,654	392,135	336,015	168,340	504,355
〃 VI類	59	277	49,401	120,519	97,706	924,296	174,677	1,098,973
〃 VII類	2	2	2,657	985	912	49,377	3,757	53,134
計	1,421	4,855	1,328,874	6,343,092	5,154,708	23,031,139	5,249,665	28,280,804
前年対比	151	157	38,321	525,932	579,276	△ 109,779	△ 569,108	△ 678,887

施設区分	1 組合員当たり				1 棟当たり		
	棟数	面積	共済金額	農家掛金	面積	共済金額	農家掛金
ガラス室 I類	棟	m <sup>2</sup>	千円	円	m <sup>2</sup>	千円	円
	1	274	1,631	1,003	274	1,631	1,003
〃 II類	3	865	9,614	1,926	346	3,845	771
プラスチックハウス I類	0	0	0	0	0	0	0
〃 II類	4	867	2,761	16,025	245	779	4,523
〃 III類	1	1,109	5,480	15,872	814	4,019	11,640
〃 IV類	甲	2	1,621	10,676	727	4,789	12,389
	乙	2	2,154	26,954	932	11,656	3,124
〃 V類	2	2,165	17,824	15,273	972	8,003	6,857
〃 VI類	5	837	1,656	15,666	178	353	3,337
〃 VII類	1	1,329	456	24,689	1,329	456	24,689
計	3	935	3,628	16,208	274	1,062	4,744
前年対比	△ 1	△ 81	25	△ 2,013	△ 1	88	△ 182

## 引受の概要

令和4年度の引受は、大型農家の未継続や廃業等により減少もあったが、未加入者への戸別訪問や、新規就農者の加入により、引受戸数、引受棟数、引受面積、共済価額、共済金額は増加している。

有資格棟数（令和5年3月組合調査）に対する引受率は49.4%となり、有資格戸数に対する引受率は、66.2%となった。

(被害)

△印 減

施設区分	被 害			損 害 額	共 済 金							共済金額	
	組合員数	棟 数	附帯施設数		特 定 園 芸 施 設	附 帯 施 設	施 設 内 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧 費 用	附 帯 復 旧 費 用	合 計		
ガラス室 I類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	1	1	0	157,476	125,980	0	0	0	0	0	0	125,980	0.2
プラスチックハウス I類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	143	246	13	54,854,173	41,647,517	379,088	619,093	418,200	131,400	0	0	43,195,298	1.3
〃 III類	9	12	0	922,461	375,527	0	331,652	0	39,334	0	0	746,513	0.2
〃 IV類	甲	6	7	909,549	745,046	0	0	0	0	0	0	745,046	0.1
	乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 V類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 VI類	14	16	0	4,391,846	3,434,999	0	78,472	0	0	0	0	3,513,471	3.6
〃 VII類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	173	282	13	61,235,505	46,329,069	379,088	1,029,217	418,200	170,734	0	0	48,326,308	0.9
前年対比	75	82	6	42,175,899	39,172,451	△ 1,328,567	△ 5,456,149	329,480	170,734	0	0	32,887,949	0.6

施設区分	1 組合員当たり			1 棟当たり		被 害 棟 数					
	棟 数	共 済 金	被害率	共 済 金	被害率	施設本体	附帯施設	施設内物	撤去費用	本体復旧費用	附帯復旧費用
ガラス室 I類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
〃 II類	1.0	125,980	1.3	125,980	3.3	1	0	0	0	0	0
プラスチックハウス I類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
〃 II類	1.7	302,065	10.9	175,591	22.5	242	6	22	14	1	0
〃 III類	1.3	82,946	1.5	62,209	1.5	11	0	1	0	1	0
〃 IV類	甲	124,174	1.2	106,435	2.2	7	0	0	0	0	0
	乙	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
〃 V類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
〃 VI類	1.1	250,962	15.2	219,592	62.2	16	0	2	0	0	0
〃 VII類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
計	1.6	279,343	7.7	171,370	16.1	277	6	25	14	2	0
前年対比	△ 0.4	121,809	3.3	94,178	8.2	160	△ 1	△ 54	13	2	0

## 被害の概要

令和4年度の被害状況は、9月6日の台風11号、18日・19日の台風14号により、施設本体、令和4年度の特定期園芸施設ごとの保険金は98棟で、令和4年度の年間超過損害保険金は発生し、被覆材、附帯施設及び施設内農作物に被害が発生し、支払対象は72戸、130棟となった。また、12月19日～25日にかけての大雪や強風により、施設本体の倒壊や附帯施設等、支払対象農家59戸、113棟の被害となった。施設内農作物については、風害及び病虫害で、支払対象農家5戸、25棟の被害となった。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	
円 48,326,308	円 20,455,313	円 27,870,995	円 0	円 0	円 0	% 100.0

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引受関係)

△印 減

	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1 棟 当 た り 平 均 共 済 金 額	保 険 料	保 険 手 数 料
			純 共 済 掛 金	賦 課 金			
	棟	円	円	円	円	円	円
	94,639	1,091,323,440,000	658,941,129	444,791,698	11,531,435	377,986,337	126,552,003
前 年 対 比	△2,974	△32,397,880,000	△15,457,963	△11,532,749	19,430	△8,783,751	△ 3,211,554

引受の概要

新規引受けは、棟数521棟、共済金額71億8,967万円の引受けはあったが、他共済への移行、無人住宅の増加等により、昨年度に比べ火災共済は棟数2,565棟、共済金額307億7,858万円の減少となった。総合共済は、棟数409棟、共済金額16億1,930万円の減少となった。

引受全体では、棟数2,974棟、共済金額323億9,788万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事故棟数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金			保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	合 計 (ロ)		
	棟	円	円	円	円	円	%
	806	10,135,760,000	339,966,399	65,745,733	405,712,132	121,713,354	4.00
前 年 対 比	△382	△3,762,500,000	142,746,282	△46,324,899	96,421,383	28,566,817	1.77

事故の概要

事故棟数は、昨年度に比べ382棟減少したが、支払共済金は約9,642万円増加した。

火災等の事故は全焼事故が増加し、支払共済金は約1億4,275万円増加した。

自然災害の事故は、積雪及び台風による事故が増加したが、支払共済金は約4,632万円減少した。

## (建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	保 険 金	被害率 (ハ)/(イ)	支払割合
	棟	円	円	円	%	%
取 灰	1	47,100,000	66,000	19,800	0.1	0.0
焚 火	3	25,000,000	21,928,542	6,578,563	87.7	5.4
灯 火	3	27,000,000	9,099,512	2,729,851	33.7	2.2
漏 電	7	184,000,000	178,961,873	53,688,558	97.3	44.1
その他の電気器具	3	73,300,000	33,510,900	10,053,269	45.7	8.3
不明・調査中	1	6,000,000	7,206,544	2,161,963	120.1	1.8
類 焼	15	212,250,000	44,869,434	13,460,825	21.1	11.1
火災合計①	33	574,650,000	295,642,805	88,692,829	51.4	72.9
前年対比	5	278,120,000	170,856,401	51,256,918	9.3	32.6
水道管凍結	129	2,052,650,000	4,641,569	1,392,452	0.2	1.1
落 雷	121	2,232,360,000	15,480,637	4,644,150	0.7	3.8
外部からの落下等	63	931,150,000	1,717,632	515,267	0.2	0.4
車両の飛び込み	26	354,200,000	4,268,573	1,280,563	1.2	1.1
給排水設備	60	991,600,000	17,239,727	5,171,896	1.7	4.2
盗難による汚毀損	3	11,050,000	163,986	49,195	1.5	0.0
建物内部の車両衝突	4	51,500,000	811,470	243,440	1.6	0.2
拡張担保合計②	406	6,624,510,000	44,323,594	13,296,963	0.7	10.9
前年対比	△ 259	△ 3,469,280,000	△ 28,110,119	△ 8,432,926	0.0	△ 12.5
自然災害以外の合計①+②	439	7,199,160,000	339,966,399	101,989,792	4.7	83.8

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	保 険 金	被害率 (ハ)/(イ)	支払割合
	棟	円	円	円	%	%
風 台 風	44	367,900,000	7,155,462	2,146,619	1.9	1.8
強 風	13	106,000,000	1,046,371	313,906	1.0	0.3
大 雨 ・ 豪 雨	4	36,000,000	1,698,776	509,631	4.7	0.4
風 水 台 風	26	217,200,000	3,737,802	1,121,328	1.7	0.9
暴 風 雨	5	95,000,000	1,046,684	314,003	1.1	0.3
積 雪	274	2,099,500,000	51,017,808	15,305,226	2.4	12.6
雪 崩	1	15,000,000	42,830	12,849	0.3	0.0
自然災害合計③	367	2,936,600,000	65,745,733	19,723,562	2.2	16.2
前 年 対 比	△ 126	△ 521,340,000	△ 44,526,059	△ 13,357,755	△ 1.0	△ 19.5
地 震	0	0	0	0	0.0	0.0
地震等合計④	0	0	0	0	0.0	0.0
前 年 対 比	0	0	0	0	0.0	0.0
合 計	806	10,135,760,000	405,712,132	121,713,354	4.0	100.0
前 年 対 比	△ 382	△ 3,762,500,000	96,421,383	28,566,817	1.8	-

② 農機具共済

(引受関係)

△印 減

	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当たり 平均 共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	円	円	円	円
	9,579	21,396,260,000	65,050,511	31,563,078	2,233,663
前年対比	△150	313,960,000	1,139,041	536,071	66,709

引受の概要

新規引受けは、台数526台、共済金額14億7,664万円の引受けとなった。そのうち機種追加した野菜調製機等に係る引受けは21台、4,664万円となった。

引受全体では高齢化等による離農で個人所有の加入農機具の廃棄、売却等があり、台数は150台減少したが、新規加入や法人等の大型農機具の引受けにより、共済金額は3億1,396万円増加した。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	加入 総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金				被害率 (ロ)/(イ)
			火災等	風水害等	その他	合計 (ロ)	
	台	円	円	円	円	円	%
	115	475,010,000	2,003,480	10,517,942	43,009,948	55,531,370	11.69
前年対比	4	39,830,000	607,794	5,831,962	15,891,325	22,331,081	4.06

事故の概要

事故台数は、昨年度に比べ4台増加し、支払共済金も約2,233万円増加した。

火災等の事故は、物体の落下、落雷等であわせて11台、風水害等の事故は、洪水及び雪害であわせて8台となった。また、その他の事故は、衝突、接触、墜落、転覆及び異物の巻き込み等の稼働中の事故があわせて96台となり、全体の83.5%を占めた。



(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

△印 減

	加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金				1台当たり 平均 共済金額
				純 共 済 掛 金		賦 課 金	計	
				損 害 部 分	減 価 部 分			
	台	円	円	円	円	円	円	円
	2	6,860,000	6,860,000	20,305	939,820	21,541	981,666	3,430,000
前年対比	△1	△1,700,000	△1,700,000	△5,032	△232,900	△5,338	△243,270	576,667

引受の概要

責任期間満了が1台あり、台数で1台、共済金額で170万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	期 間 満 了 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金				被 害 率  (ロ)/(イ)	
				事 故 に よ る も の			期 間 満 了 の も の		
				火 災	風 水 害 等	そ の 他			計 (ロ)
	台	台	円	円	円	円	円	円	%
	0	1	1,700,000	0	0	0	0	1,700,000	0.0
前年対比	△1	1	△3,020,000	0	0	△291,222	△291,222	1,700,000	△6.2

事故の概要

責任期間満了により、1台、170万円の支払いとなった。また、今年度の事故発生はなかった。

(8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

経営形態	加入経営体	基準収入	保険金額	補填対象金額	納入保険料等			
					保険料	積立金	事務費	合計
	経営体	円	円	円	円	円	円	円
個人	1,133	6,815,099,784	4,750,259,932	571,782,190	50,092,298	142,945,946	14,325,768	207,364,012
法人	281	7,480,732,707	5,370,938,645	643,677,806	59,063,658	160,919,554	12,977,308	232,960,520
計	1,414	14,295,832,491	10,121,198,577	1,215,459,996	109,155,956	303,865,500	27,303,076	440,324,532
前年対比	201	1,426,788,851	1,012,558,799	112,682,234	7,187,160	28,170,633	1,489,165	36,846,958

引受の概要

前年度に比べて、201経営体の増加になった。1経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約602万円、法人経営体で約2,662万円であった。

また、主な対象品目は、水稻、野菜、果樹、花などであった。

(支 払)

経営形態	補 填 金				つ な ぎ 資 金	
	経営体数	保険金	特約補填金	合計	経営体数	貸付金額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個人	254	122,080,292	118,618,376	240,698,668	20	51,130,000
法人	84	280,088,848	212,505,815	492,594,663	8	131,700,000
計	338	402,169,140	331,124,191	733,293,331	28	182,830,000
前年対比	63	28,882,998	49,879,238	78,762,236	△12	△148,120,000

被害の概要

令和3年8月の豪雨や長雨の影響による生育不良やイモチ病などの病害、また、イノシシやシカなどによる食害などで収穫量や販売数量が減少した。

新型コロナウイルスの影響による出荷数量の減少や販売価格の低下により収入が減少した。

(9) 業務関係  
ア 重要な処理事項

月 日	行 事 内 容	場 所
令和4年		
4月4日～6日	新任職員研修会	広島市
4月15日	収入保険担当者会議	〃
4月18日	決算監査(福山支所)	福山市
4月21日	広島県農業共済研修基金運用委員会	広島市
4月25日	理事会 総務委員会	〃
〃	決算監査(廿日市出張所、旧広島支所：広島市・安芸郡分)	廿日市市
4月26日	〃 (府中家畜診療所)	府中市
〃	〃 (旧世羅支所：府中市・世羅町分)	〃
4月27日	〃 (北広島家畜診療所)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
4月28日	「安心の未来」拡充運動表彰審査会	広島市
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
5月10日	理事会 事業委員会	〃
5月11日	役員推薦会議	〃
5月12日	決算監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
〃	〃 (庄原家畜診療所)	〃
5月13日	〃 (家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
5月16日	収穫園芸担当課長等会議	広島市
5月17日	余裕金運用管理委員会	〃
5月18日～19日	決算監査(本所)	〃
5月24日	広報委員会会議	〃
5月26日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	理事会	〃
5月30日	任意共済担当課長等会議	〃
5月31日	情報セキュリティ委員会	〃
6月2日	農作物共済・畑作物共済事務講習会	〃
6月3日	収入保険事務講習会	〃
〃	家畜共済特定損害防止事業担当者会議	広島市他
6月8日	第9回通常総代会	広島市
6月9日	果樹共済・園芸施設共済事務講習会	〃
6月13、14、17日	コンプライアンス研修会	広島市他
6月15日	広島県農業保険推進協議会 第3回通常総会	広島市

月 日	行 事 内 容	場 所
6月16日	任意共済事務講習会	広島市
6月20日	園芸施設共済の加入推進等に係る検討会	〃
6月21日	内部監査・情報セキュリティ監査(府中家畜診療所)	府中市
6月22日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
6月23日	内部監査・情報セキュリティ監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
6月27日	〃 (北広島家畜診療所)	北広島町
6月29日	〃 (三次家畜診療所)	三次市
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
7月5日	〃 (府中出張所)	府中市
7月7日	〃 (福山支所)	福山市
7月13日	収入保険担当者会議	広島市他
〃	家畜診療所長会議	広島市
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(江田島連絡所)	江田島市
7月14日	〃 (東広島支所)	東広島市
7月19日	〃 (廿日市出張所)	廿日市市
〃	一般職員研修会Ⅱ	広島市
7月20日～21日	初級職員研修会	〃
7月21日	内部監査・情報セキュリティ監査(北広島支所)	北広島町
7月22日	中堅職員研修会及び一般職員研修会Ⅰ	広島市
7月26日	内部監査・情報セキュリティ監査(三次支所)	三次市
8月1日	〃 (建物農機具課)	広島市
8月3日	〃 (企画情報課)	〃
〃	家畜診療所運営委員会	〃
8月4日	内部監査(収入保険課)	〃
〃	果樹共済(落葉果樹)損害評価現地研修会	世羅町
8月5日	役員研修会	広島市
〃	情報セキュリティ監査(収入保険課)	〃
8月8日	家畜共済事務講習会	〃
8月10日	任意共済損害評価講習会	〃
8月18日	内部監査・情報セキュリティ監査(収穫園芸課)	〃
8月19日	農作物共済(水稻)損害評価現地研修会	東広島市
8月25日	内部監査・情報セキュリティ監査(家畜課)	広島市
〃	損害評価会 農作物共済部会	広島市他
8月29日	内部監査・情報セキュリティ監査(経理課)	広島市
8月30日	園芸施設共済損害評価現地研修会	北広島町

月 日	行 事 内 容	場 所
8月31日	内部監査・情報セキュリティ監査(総務課)	広島市
〃	余裕金運用管理委員会	〃
9月1日	任意共済事務処理検討会	広島市他
〃	情報セキュリティ監査(監査室)	広島市
9月5日	理事会 事業委員会	〃
9月8日	部長・室課長・支所長会議	〃
9月16日	理事会	〃
〃	監事会	〃
9月21日	果樹共済(常緑果樹)損害評価現地研修会	呉市
9月29日	広報委員会議	広島市他
10月17日	内部監査(臨時)(三次支所)	三次市
〃	〃 ( 〃 ) (北広島支所)	北広島町
10月20日	第2回任意共済事務処理検討会	広島市他
10月24日	コンプライアンス責任者会議	広島市
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
10月26日	中間監査(北広島家畜診療所)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
10月27日	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	東広島市
10月28日	中間監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	〃
〃	〃 (東広島支所)	〃
10月31日	管理職研修会	広島市
11月1日	初級管理職研修会	〃
11月2日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
〃	中間監査(府中家畜診療所)	府中市
〃	〃 (福山支所)	福山市
11月9日	〃 (三次支所)	三次市
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
11月16日、22日	〃 (本所)	広島市
11月18日	理事会	〃
〃	農作物共済(水稻)に係る損害評価等検討会	〃
11月28日	理事会 総務委員会	〃
11月30日～12月1日	中国・四国地区家畜共済地区別協議会	〃
12月2日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
〃	余裕金運用管理委員会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
12月5日	理事会	広島市
12月6日	内部監査(廿日市出張所)	廿日市市
12月8日	内部監査(北広島支所)	北広島町
〃	家畜診療所長会議	広島市
12月12日	部長・室課長・支所長会議	〃
〃	情報セキュリティ委員会	〃
12月13日	損害評価会 農作物共済部会	〃
〃	内部監査(江田島連絡所)	江田島市
12月14日	〃 (東広島支所)	東広島市
12月16日	〃 (府中出張所)	府中市
12月20日	〃 (福山支所)	福山市
12月22日	〃 (三次支所)	三次市
令和5年		
1月6日	内部監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
1月10日	〃 (府中家畜診療所)	府中市
1月12日	〃 (北広島家畜診療所)	北広島町
1月13日	〃 (三次家畜診療所)	三次市
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
1月16日～18日	県常例検査(東広島支所)	東広島市
1月19日～20日	〃 (福山支所)	福山市
1月23日～27日	県常例検査・検査講評(本所)	広島市
1月30日	内部監査(家畜課)	〃
1月31日	損害評価会 園芸施設共済部会	〃
2月1日	任意共済研修会	〃
〃	内部監査(収入保険課)	〃
2月3日	収入保険担当者会議	〃
〃	内部監査(建物農機具課)	〃
2月6日	〃 (収穫園芸課)	〃
2月7日	部長・室課長・支所長会議	〃
2月8日	任意共済担当課長等会議	〃
〃	内部監査(企画情報課)	〃
2月10日	〃 (経理課)	〃
〃	役員推薦会議	〃
2月13日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
2月13日	内部監査(総務課)	広島市
2月21日	理事会	〃
2月21日	監事会	〃
2月22日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
2月24日	家畜共済担当課長等会議	〃
2月28日	損害評価会 農作物共済部会	〃
3月1日	損害評価会 家畜共済部会	〃
3月3日	収穫園芸担当課長等会議	〃
3月6日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長・所長会議	〃
3月7日	広報委員会議	〃
3月8日	「安心の未来」拡充運動実践企画会議	〃
3月9日	臨時総代会	〃
3月10日	損害評価会 畑作物共済部会	〃
3月14日	家畜診療所長会議	〃
3月15日	コンプライアンス改善委員会	〃
3月17日	余裕金運用管理委員会	〃
〃	広島県農業保険推進協議会臨時総会	〃
3月23日	損害評価会 任意共済部会	〃
3月28日	理事会	〃
〃	監事会	〃

イ 総 代 会

(ア) 通常総代会

(令和4年6月8日)

総代会日現在総代数 (A)	153人	出 席 率	
本 人 出 席 (B)	22人	(B) / (A)	14.38%
代 理 出 席	0人		
書 面 出 席	129人		
出 席 者 計 (C)	151人	(C) / (A)	98.69%

重要な議事及び議決事項

1. 令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
2. 令和4年度事業計画設定について
3. 令和4年度事務費賦課額及び賦課方法について
4. 令和4年度役員報酬、顧問料、損害評価会委員、損害評価会支所委員、家畜診療所運営委員、損害評価員及び共済委員等の手当支給額について
5. 令和4年度における借入金の最高限度額について
6. 令和4年度余裕金預入先決定について
7. 定款の一部変更について
8. 事業規程の一部変更について
9. 農業共済事業のニーズ調査に係る取組状況について
10. 損害評価会委員及び損害評価会支所委員の退任及び補充選任について
11. 役員の補欠選任について

(イ) 臨時総代会

(令和5年3月9日)

総代会日現在総代数 (A)	153人	出 席 率	
本 人 出 席 (B)	9人	(B) / (A)	5.88%
代 理 出 席	0人		
書 面 出 席	141人		
出 席 者 計 (C)	150人	(C) / (A)	98.04%

重要な議事及び議決事項

1. 事業規程の一部変更について
2. 職員給与規則の一部改正について
3. 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について
4. 役員の補欠選任について



ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減(△)	摘要
62,087人	59,789人	△2,298人	

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役員数	理事						監事		合計		
	常勤 0人		非常勤 14人		計 14人		3人		17人		
職員	事項 性別	参事	監査室	事業部			家畜部	総務部			計
				農作物 畑作物 果樹 園芸施設	任意	収入 保険	家畜	総務	経理	企画 情報	
員	男	1	2	6	4	2	23	3	2	4	47
	女		1	2	1	1	10	2	2	2	21
	計	1	3	8	5	3	33	5	4	6	68
数	事項 性別	北広島 支所	東広島 支所	福山 支所	三次 支所	計					計
		人	人	人	人	人					人
		25	20	15	19	79					126
女	9	5	11	3	28					49	
計	34	25	26	22	107					175	

(イ) 職員勤務場所

	本 所	支 所 等	臨床研修所	診 療 所	計
男	28人	79人	2人	17人	126人
女	11人	28人		10人	49人
計	39人	107人	2人	27人	175人

(ウ) 総代、共済委員、NOSA I 部長、損害評価会委員、損害評価会支所委員、損害評価員

総 代	共 済 委 員	N O S A I 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 会 支 所 委 員	損 害 評 価 員
153 人	6,085 人	133 人	45 人	188 人	887 人

(10) その他

- ア 決算日後に生じた組合の状況に関する重要な事実  
該当事項はなし